

会 議 録

(7-1)

会議の名称		令和7年度 第3回豊春地区地域づくり推進協議会					
開催日時		令和7年12月16日(火曜日)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">開 会</td> <td>午後2時</td> </tr> <tr> <td>閉 会</td> <td>午後3時40分</td> </tr> </table>	開 会	午後2時	閉 会	午後3時40分
開 会	午後2時						
閉 会	午後3時40分						
開催場所		豊春市民センター2階 研修室					
議長(会長等)氏名		会長 岡本 文雄					
出席者	委員氏名	(出席人数：10人) 岡本 文雄、板橋 弘子、神田良子、波間 美奈子、小川 智之、 山口 英治、佐藤 浩一、吉島 久乃、関 夢香、井上 謹郎					
	説明者 その他	(出席人数：1人) 説明者：豊春地区センター所長 島田 敬					
	事務局	(出席人数：1人) 豊春地区センター所長 島田 敬 豊春地区センター主査 吉久 高秀					
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 地域住民による自主的なまちづくり等について 4 その他 5 閉会 ※(すべて公開)					
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：					
配布資料		資料 地域住民による自主的なまちづくり等について 参考 豊春地区の現状					
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録					
会議録署名の指定		会議録の署名は、会長から指名を受けたものが実施する。					

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>【1. 開 会】</p> <p>出席者数及び会議成立の旨の報告</p> <p>会議を公開する旨の報告、傍聴希望者なしの報告。</p>
会長	<p>【3. あいさつ】</p> <p>《岡本会長あいさつ》</p>
議長	<p>【3. 協議事項】</p> <p>(1) 地域住民による自主的なまちづくり等について、事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>《資料に基づき説明》</p>
議長	<p>はじめに「1 防災に関する取組」の「今後取組が必要なこと」についてご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>大增中では避難場所を明示するようにした。立野小では地域の方が集まり、避難場所や避難物資の確認を行った。来年は大增中で行いたい。中心となる方にお話しがしたいと考えている。子どもたちの引渡訓練と合わせて行うことを考えている。</p>
会長	<p>宮川小学校では、近隣自治会が避難物資の組立等の訓練を行っている。そうしたところに声をかけ、一緒に課題解決を考えていけたらと思う。</p>
委員	<p>豊春小学校でも3自治会で避難所開設訓練を行っている。PTAもまじえて行えたらと考えていた。各小学校で毎年4月か5月に行っている児童の引渡訓練を中核にして、全自治会に声をかけてもらえたらと思う。</p>
委員	<p>中学校では、引渡訓練に保護者が来れないという課題がある。</p>
委員	<p>災害時に近くに動ける人がいるかがカギになる。第4包括支援センターと連携することを考えてはどうか。</p>
委員	<p>資料に今後取組が必要なこととして、住民が安心して避難できるシステムの構築と周知が挙げられている。30自治会の一つひとつに必要なことだと思う。目標としてはっきりさせた方がよいと思う。</p>
議長	<p>自治会は毎年防災訓練を行っている。近隣自治会と共同で行っていると</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	いるところもある。参加していただくことで意識は大分違ってくる。
委員	自治会の役員だけでなく、自治会が自治会にあったきめ細かな、全住民が理解できる仕組みづくりが必要ではないか。
議長	自治会としても参加を呼び掛けている。意識の問題もあると思う。
委員	そもそも避難できる人が少ないのではないか。避難の支援を受けたい人が多いということに即したことを考えた方がよい。
委員	6自治会合同により八木崎小学校の校庭で防災訓練を行っている。当自治会からの参加者が少なかった。意識を高くし訓練に参加してもらうことが必要だと思う。
委員	13地区により立野小学校で合同避難訓練を行っている。来年度は大増中で行うことで話しが進んでいる。回覧などで参加を呼びかけているが役員以外になかなか参加してもらえない。これからも粘り強く呼びかけていきたい。
委員	防災の講演会で、避難所はいっぱいになり入れなくなってしまうので、避難するのは、家が壊れて住めない人で、家が壊れていなければ、自宅に避難してくださいという話しを聞いた。その際、特に必要な物は、水と排泄物の凝固剤10日分、カセットボンベとのことだった。
委員	何を準備しておくか迷ってしまうのではないかと思うので周知していきたい。
委員	避難所の収容力と備蓄品は限られている。自宅が安全な状態であれば自宅避難、その次が知り合いやご近所、その次が車での避難となっている。避難所に避難するのは最後の選択肢である。避難所に避難する形の防災訓練は実態に合わない。避難の優先順位やいかに自宅を防災拠点に変えるかといったことの啓発・周知が必要だ。
事務局	今後、自助の部分上げていくような事業を実施していくことを皆さんのご意見をいただきながら、報告に入れることを検討したい。
議長	次に「2地域の絆に関する取組」の「今後取組が必要なこと」についてご意見をいただきたい。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	<p>昔、豊春祭りというものがあつたことを覚えている。例えば、公道を通 行止めにして、マルシェや縁日などのイベントはできないだろうか。 また、文化祭の時に縁日や模擬店など、子どもたちや色々な世代の方が 集まるしかけを考えてはどうか。 豊春中学校の合唱部やOBに協力してもらうなどすることにより、 豊春らしさが出て、いいのではないかと思う。</p>
委員	<p>各地域間、各自治会間のつながり、交流が絆になってくると思う。 自治会の加入率が50%を割っている。地域の絆が弱いからではないか。</p>
委員	<p>埼玉県内でも、マルシェやキッチンカーのお祭りがたくさん行われてい る。みんなが楽しめるようなイベントを開催することで、自然に人が集 まり、防災を周知する場にもできるのではないか。</p>
委員	<p>資料を見て、利用団体数が多く、様々な活動が行われていることに驚い た。今の現状でもよろしいではないか。</p>
委員	<p>自治会でわくわく広場というイベントを行っている。内容は、防災とク リーンデーを合わせたものとなつている。年配の方から子どもたちまで幅 広く参加していただいている。 また、文化祭に参加したがキッチンカーなどがあつた方が盛り上がり と思う。周知もいろいろなどころでした方がよいと思う。</p>
委員	<p>豊春地区の体育祭は、回覧の他に学校を通してメール配信も行われてい る。文化祭も同様に発信できると思う。いろいろな行事についても同様 に行えば、認知が広がるではないか。 子どもの居場所づくりで母親としても助けられている。私の意見がお役 に立てればと思っている。</p>
事務局	<p>学校にメール配信をお願いしているのは、子どもを対象としたイベント としている。今後は、ご迷惑にならない範囲でいろいろな情報を配信し ていけるよう交渉していきたい。また、体育祭の中でも防災の取組を 取り入れられないか検討していきたい。</p>
議長	<p>次に「3防犯に関するする取組」の「今後取組が必要なこと」について ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>詐欺電話を受けたことがある。海外からの電話の呼び出しがかからない にできる携帯電話の設定がある。そういったことを広めるだけでも詐欺 を防げることがあるのではないか。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	豊春駅周辺の防犯カメラが3台というのは少なすぎないか。
事務局	市は駅前などの人が多いところに防犯カメラを設置している。個人、家庭、警察などの設置を含めると相当数に上る。豊春市民センターでも3台設置している。
委員	今後の取組として被害の傾向などを周知していったらどうかという意見を出した。被害に合われている方が大勢いるので、対応策を含めて周知していく取組が必要ではないか。
委員	地区で埼玉県警のひまわりをお呼びして、楽しく詐欺についてのお話をしていただいた。こういう取組もよいのではないか。
事務局	昨年度、公民館事業でも埼玉県警のひまわりをお呼びした。本年度は春日部警察をお呼びして、詐欺内容の体験をしていただく講演会を開催する。
委員	防犯の啓発を行っている主体がいろいろある。どこへ相談したらよいかよく分からない。市民センターに窓口を一本化して、ガイドしてくれるような機能を持ってけるとありがたい。
事務局	窓口は暮らしの安全課が主となる。市民センターもそれに合わせて調整させていただきながら対策をしていきたいと考えている。将来的な検討事項となる。
議長	次に「4地域コミュニティに関する取組」の「今後取組が必要なこと」について ご意見をいただきたい。
議長	毎年10月に自治会入会キャンペーンを実施している。
委員	豊春地域では70歳から74歳の人口が3,000人強いる。70歳台前半の年代の人たちが地域のために活動し、85歳以上の年代の人たちを支援することが必要ではないか。豊野地域では、地域包括支援センターが中心となり、地域の助け合い活動を行っている。豊春地域でも、地域包括支援センターが中心となり、セカンドライフ大作戦という取り組みが行われているが、市民センターが中心になって、高齢者を有償支援するシステムを提唱してはどうか。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委員	地域コミュニティに関する取組が一番重要と思っている。活動によりいろいろな楽しみがあり、この地域に住んで良かったと感ずることができ。人と人とのつながりにより、喜びを感じることができ。防犯、防災についても人と人とのつながりが原点だと思う。豊春地区では、既にいろいろなコミュニティ活動が行われている。センターが全体をとらえて市民とともに活発化するような取組を進めていきたい。具体化をこの会議でつめていきたい。
議長	市民センター、第二公民館は多くの人に利用されており、これを市民がまちづくりの主体となる意識改革の課題解決につなげていきたい。
委員	学生の利用が増えているという話があったが、サークル利用者と学生が交流するしかけ、きっかけは提供されているか。
事務局	提供していないが、サークル活動が終わった後に、子どもたちと話しをしている光景は見かける。子どもたちがいることで活気を感じていただけるようだ。
委員	コミュニティと地域の絆は関連性が強い。コミュニティの活性化は長い目で見る必要がある。今からいろいろな世代を巻き込んでコミュニティの活性化に取り組むことが必要だと思う。
事務局	ホールに手作りのクリスマスツリーを置き、子ども向けに手作りの飾りをつけてもらうイベントを行ったが、大人の利用者も飾りつけしていただけた。そこに交流も生まれた。年明け後もこのような取り組みを検討していく。
議長	是非、実現させていただきたい。他世代交流は取組としてよいと思う。
委員	コミュニティの成長を促すような講習会や情報提供、コミュニティの担い手づくりを進めていきたい。また、コミュニティの数を増やす、つなげる活動を市民と市民センターと一緒に取り組む仕組みづくりを行ってきたい。そして今後もこの会議の場で意見が言い、運営に関わってきたい。
議長	他にご意見はあるか。 (意見なし)

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議長	ないようなので、4つのテーマについての協議を終了させていただく。 委員の皆様におかれては、さまざまなご意見をいただき、感謝申し上げます。
事務局	【4. その他】 今後の予定は、第4回会議を来年2月または3月に開催する予定。内容は、市長への中間報告となる。本日いただいたご意見を踏まえ、実施することをまとめながら、引き続き議論していただく項目を明確にしていきたいと思う。本日いただいたご意見を踏まえ、事務局にて書類を作成し各委員に電子メールでお送りさせていただくので、ご確認をいただきたい。ご確認いただいた後に、委員の皆様の総意として、市長に中間報告をさせていただきたい。
事務局	【5. 閉会】
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和 8年 3月19日</p> <p>署名者の職・氏名 豊春地区地域づくり推進協議会 委員 波間 美奈子</p>	